

## 「答申案」に対する各委員の意見等による字句修正等について

項目	頁	番号	修正内容	理由
答申にあたって	-	(1)	表題の下の空白行を1行追加	間隔を広げて見やすくするため。(※以下、同様な箇所について同様に修正する。)
		(2)	文章の段落ごとに空白行を1行挿入する。	間隔を広げて見やすくするため。(※以下、同様な箇所について同様に修正する。)
		(3)	1行目「～平成25年度」を「～25年度」	「平成」の重複を避けるため。
		(4)	2行目「むかえた」を「迎えた」	漢字表記とすることで、「ある時期を目前にする」という意味をわかりやすくするため。
		(5)	[意見] 3行目「平成25年」を「25年」	※修正しない。「年号」がないと、時期が特定されないため。
		(6)	9行目「相応しい」を「ふさわしい」	読みやすくするため。(島根県「文書事務の手引」の用字用語例を参照)
		(7)	12行目「子ども達」を「子どもたち」	文化庁国語課に問い合わせ、「たち」と平仮名表記することが正しいと確認したため。(※以下、記載箇所すべてについて修正)
		(8)	21行目「結びつき」を「結び付き」	学習指導要領に出てくる表記と合わせるため。(※以下、記載箇所すべてについて修正)
第2期しまね教育ビジョン21の全体構造	1	(9)	[意見] 2行目「ねらい」を「狙い」	※修正しない。学習指導要領に出てくる表記では「ねらい」であるため。
		(10)	4行目「作成されました」を「作成しました」	全体構造を作成した主体であることを表すため。
		(11)	[意見] 16行目「各々」を「おのおの」	※修正しない。島根県「文書事務の手引」の用字用語例では「各々」とされているため。
		(12)	18行目「これらの重点目標はその」を「これらの重点目標は、その」	読点を入れて読みやすくするため。
		(13)	20行目「大括り」を「大ぐり」	文部科学省HPの使用例において最も一般的な表記であるため。
基本理念	3	(14)	「島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり」をゴシック体にして、文字を大きくする(15ポイント)。	強調して見やすくするため。
向かっていく学力	4	(15)	1行目「1. 向かっていく学力」の文字を大きくする(14ポイント)。	強調して見やすくするため。(※以下、同様な箇所について同様に修正する。)
		(16)	17行目「善循環」を「好循環」	文部科学省の使用例に合わせるため。
		(17)	18行目「(1)学ぶ力・学んだ力」の文字を大きくする(12ポイント)。	強調して見やすくするため。(※以下、同様な箇所について同様に修正する。)
		(18)	18行目「(1)学ぶ力・学んだ力」の下に空白行を1行挿入する。	間隔を広げて見やすくするため。(※以下、同様な箇所について同様に修正する。)
		(19)	22行目「だけを頼る」を「だけに頼る」	意味を正確に表現するため。(広辞苑の用例を参照)

項目	頁	番号	修正内容	理由
向かっていく 学力	5	(20)	図2「学んだ力」の番号「①②」を削除	不用であるため。
		(21)	7行目「結果によると次の」を「結果によると、次の」	読点を入れて読みやすくするため。
	6	(22)	27行目「(学校における教育の情報化の実態等に関する調査)」を「(平成24年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査)」	時期を特定するため。
		(23)	31・33行目「(県教委独自調べ)」を「(平成25年度県教委独自調べ)」	時期を特定するため。
広がっていく 社会力	10	(24)	4行目の下に「東日本大震災…状況。」を移動	良い面について、先に記載するため。(※以下、同様な箇所について同様に修正する。)
		(25)	26行目「自分達」を「自分たち」	文化庁国語課に問い合わせ、「たち」と平仮名表記することが正しいと確認したため。(※以下、記載箇所すべてについて修正)
		(26)	欄外注釈「ふるまい推進事業」に「平成22年度から」、「島根県教育委員会が」を書き加える。	開始時期、実施主体について具体的にわかるようにするため。
	11	(27)	29行目「抛り所」を「よりどころ」	読みやすくするため。(島根県「文書事務の手引」の用字用語例を参照)
(28)		30行目「身近な地域や島根と」を「身近な地域・島根と」	文章の意味を正確にわかりやすく表現するため。(※以下、記載箇所すべてについて修正)	
島根の教育目標を達成するための基盤	16	(29)	6行目「…する人」、「…する人」、「…する人」の間の「、」を削除	見やすくするため。
		(30)	8行目「までの間に学校」を「までの間に、学校」	読点を入れて読みやすくするため。
		(31)	8行目「を概括的に提示し」を「要点をまとめて示し」	わかりやすくするため。(「概括」…「要点をまとめること」)
		(32)	10行目「学校種毎に」を「学校種ごとに」	読みやすくするため。(島根県「文書事務の手引」の用字用語例を参照)(※以下、同様な箇所について同様に修正する。)
		(33)	10行目「概括的に」を「要点をまとめて」	わかりやすくするため。(「概括」…「要点をまとめること」)
		(34)	13行目「…学力」、「…社会力」、「…人間力」の間の「、」を削除	見やすくするため。
		(35)	22行目「必須であります」を「大前提です」	文章の意味を正確に表現するため。(「必須」…「必ずなくてはならないこと」、「大前提」…「行為を起こしたり物事が成立したりする時に、まず求められる重要な条件」)
	17	(36)	就学前見出し:「ふれる力」を「触れる力」	学習指導要領に出てくる表記と合わせるため。
		(37)	就学前上から1番目の■:「ふれて」を「触れて」	学習指導要領に出てくる表記と合わせるため。
		(38)	〔意見〕 就学前上から9番目の■:「食事・排泄…」を「食事・排せつ…」	※修正しない。学習指導要領に出てくる表記では「排泄」であるため。
		(39)	〔意見〕 小学校見出し:「かかわる力」を「関わる力」	※修正しない。学習指導要領に出てくる表記では「かかわる力」であるため。
		(40)	小学校上から16番目の■:「自分と友達のちがいがい…」を「自分と友達の違い…」	漢字表記とすることで、「同じでないこと」という意味をわかりやすくするため。

項目	頁	番号	修正内容	理由
島根の教育目標を達成するための基盤	18	(41)	【以下、「育てたい力」の表】 「ふれる力」を「触れる力」	学習指導要領に出てくる表記と合わせるため。
		(42)	〔意見〕 「かかわる力」を「関わる力」	※修正しない。学習指導要領に出てくる表記では「かかわる力」であるため。
		(43)	「ふれあう(い)」を「触れ合う(い)」	学習指導要領に出てくる表記と合わせるため。
		(44)	「とおして」を「通して」	漢字表記とすることで、「終わりまで続けて」という意味をわかりやすくするため。
		(45)	「周囲とかかわり」を「周囲と関わり」	漢字表記とすることで、「関係する」という意味をわかりやすくするため。
		(46)	「身につけていく」を「身に付けていく」	漢字表記とすることで、「知識・技術などを習得する」という意味をわかりやすくするため。
		(47)	〔意見〕 「見つめる」を「見詰める」	※修正しない。学習指導要領に出てくる表記では「見つめる」であるため。
		(48)	〔意見〕 「見だし」を「見出し」	※修正しない。島根県「文書事務の手引」の用字用語例では「見だし」であるため。
	19	(49)	12行目「全国学力・学習状況調査結果より」を『平成25年度「全国学力・……」』	時期を特定するため。
	20	(50)	18行目「見い出せない」を「見いだせない」	島根県「文書事務の手引」の用字用語例では「見いだせない」であるため。
	21	(51)	10行目「…一生懸命であるが、高年齢化が進行」を「…一生懸命。」 12行目「大量退職が…」を「高年齢化が進行して大量退職が…」	「高年齢化の進行」と前後の文章との関係を正確に表現するため。
	23	(52)	3行目「めざして」を「目指して」	漢字表記とすることで、「目標とする」という意味をわかりやすくするため。(島根県「文書事務の手引」の用字用語例を参照)
		(53)	13行目「社会性や人間力」を「社会力や人間力」	表現を統一するため。
		(54)	欄外注釈:冒頭に「社会教育法では、社会教育の定義及び地方公共団体の任務について次のように規定されている。」という一文を書き加える。	法律の条文を引用する意図を表すため。